

平成25年11月13日

関係機関の長  
関係学部、学科等の長 殿  
関係各位

東京大学大気海洋研究所長  
新野 宏 (公印省略)

### 技術職員の公募について

このたび、当研究所では下記の要領で技術職員を公募します。つきましては、関係者各位にお知らせいただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願いいたします。

#### 記

#### 1. 採用人員 技術職員1名 (陸上研究推進室)

#### 2. 公募の趣旨

本公募は、当研究所が全国の海洋研究者と進める共同利用・共同研究を支援するために設置されている共同利用共同研究推進センター陸上研究推進室の技術職員を募集するものです。陸上研究推進室は、大気海洋研究所の陸上共通実験施設並びに試資料・情報の管理、および所内外の共同利用・共同研究の支援を業務とします。

今回の公募では、陸上研究推進室の運営を中心的に担うとともに、上記の業務の遂行に必要な専門的な技術的知識を有し、研究者(大学院生を含む)の技術指導を含めた、積極的な研究支援を行っていただける方を求めます。具体的には以下の(1)から(3)の職務を専門的に担当できる方を希望します。また、現職の技術職員と連携し、他の陸上共通実験施設の管理・運用にも積極的に携わって頂きます。

(1) 海洋地球化学の分野で利用される共通機器の管理と新規技術の導入や運用および技術指導、研究支援

(2) 放射性同位元素取扱施設の運用と管理および研究支援

(3) 液体窒素供給施設、化学薬品・廃液、高圧ガスの管理と運用および研究支援

各研究施設の主要設備については別表をご覧ください。ただし、現在保有する設備だけでなく、新に導入する機器設備にも柔軟かつ積極的に対応していただける方を希望します。

#### 3. 採用予定時期

平成26年4月1日以降のできるだけ早い時期

#### 4. 待遇等

東京大学の常勤職員として待遇し、給与は「東京大学教職員給与規則」([http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/public03\\_09\\_03\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/public03_09_03_j.html))により、これまでの職歴・経験等を勘案し決定する。

#### 5. 必要とする資格要件

- 1) 大学院修士課程修了またはそれと同等以上の学識を有すること。大学卒業後10年以内であることが望ましい。
- 2) 取り扱う機器の英文マニュアルを理解できる等、職務遂行に必要な英語力を持つこと
- 3) 第一種放射性同位元素取扱主任者や高圧ガス製造保安責任者、衛生管理者、危険物取扱者などの資格を有することが望ましい。当該資格を有しない者については、着任後その職務内容に応じて速やかに資格を取得することを条件とする。

#### 6. 提出書類

- 1) 履歴書(本学統一様式による。ダウンロードはこちらから[http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html))
- 2) 研究や技術開発に関する経験や職歴(1000字程度)
- 3) 着任後の抱負(1000字程度)
- 4) 応募者について参考意見を述べることのできる人(2名)の氏名および連絡先

#### 7. 選考方法

- 1) 書類審査(経歴評価、資格要件審査)
- 2) 面接考査

8. 募集締切

平成25年12月20日(金) 必着

9. 提出書類送付先

〒277-8564 千葉県柏市柏の葉5-1-5 東京大学大気海洋研究所 所長 新野宏 宛

(封筒に「陸上研究推進室 技術職員 応募書類在中」と朱書きし、簡易書留などで送付のこと。特に要望がない限り、応募書類は選考後も返却いたしません)

10. 問い合わせ先

〒277-8564

千葉県柏市柏の葉5-1-5 東京大学大気海洋研究所総務チーム(担当 小野口)

電話 04-7136-6004 E-mail: soumu@aori.u-tokyo.ac.jp (◎を@に変えて送信して下さい)

別表. 本公募の職務に関係する共通実験施設の主要設備

施設名	主要設備
総合クリーン実験施設	二次元高分解能二次イオン質量分析計(nanoSIMS)、誘導結合プラズマ(ICP)質量分析計、ICP発光分析計、表面電離型質量分析計、安定同位体比質量分析計、栄養塩自動分析計
地学試料処理施設、地学精密分析実験施設	岩石及び耳石の切断・研磨ならびに蛍光X線分析用処理設備、二重収束型高分解能質量分析計、レーザーアブレーション装置、クリーンルーム
加速器実験棟	シングルステージ加速器質量分析装置(平成27年度より共同利用運用開始予定)
放射性同位元素取扱施設	液体シンチレーションカウンター、ガンマカウンター、各種遠心機、貯蔵室、廃棄物庫、排水設備、各種モニター類
その他の陸上共通実験施設	飼育実験施設、遺伝子実験施設、中央顕微鏡施設、電子計算機ネットワーク管理施設、低温施設、物理環境実験施設、試料処理施設、試料保管庫、液体窒素タンク設備(いずれも施設名のみ)